



Cisco Unified Communications Manager SIP 回 線メッセージング ガイド（標準）

Cisco Unified Communications Manager SIP Line Messaging Guide (Standard)

Cisco Unified Communications Manager Release 8.5(1)

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ
デートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合があ
りますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

これらの資料は、Session Initiation Protocol (SIP) 相互運用性に関する情報を提供する目的でシスコが無償で提供しています。すべての情報は「現状のまま」提供されるものであり、シスコはこれらの資料に関して明示的にも黙示的にも一切保証は行いません。シスコは資料の正確性および完全性に関して責任を負わないものとします。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Unified Communications Manager SIP 回線メッセージングガイド (標準)、リリース 8.5(1)
Copyright © 2010 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2010–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	v	
対象読者	v	
マニュアルの構成	v	
表記法	v	
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	vi	
CHAPTER 1	SIP 標準回線インターフェイス	1-1
	定義 / 用語集	1-1
	新機能と変更情報	1-2



はじめに

このマニュアルでは、Cisco Unified CM 内のラインサイド デバイスの Session Initiation Protocol (SIP) の実装について説明します。

「はじめに」には、次のトピックがあります。

- 「対象読者」
- 「マニュアルの構成」
- 「表記法」
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」

対象読者

このマニュアルは、SIP メッセージングを使用し、Cisco Unified CM と統合するアプリケーションまたは製品を開発している、開発業者、ベンダー、およびお客様を対象に説明します。

マニュアルの構成

このマニュアルには、次の章があります。

章	説明
第 1 章「SIP 標準回線インターフェイス」	SIP 回線メッセージおよび規格準拠の概要について説明します。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
boldface フォント	コマンドおよびキーワードは 太字 で示しています。
<i>italic</i> フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。

表記法	説明
{ x y z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
boldface screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字の screen フォントで示しています。
<i>italic screen</i> フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体の screen</i> フォントで示しています。
→	この矢印は、例の中の重要な行やテキストを強調するためのものです。
^	^ 記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

次の情報が問題の解決に役立つ場合があるという意味です。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>



CHAPTER 1

SIP 標準回線インターフェイス

この章では、Cisco Unified CM SIP 回線側デバイスの外部インターフェイスについて説明します。回線側インターフェイス上でサポートされる SIP プリミティブを中心に、テクニカル サポートおよび将来の導入のためのガイドとして使用できるコール フロー シナリオについて説明します。

このドキュメントでは、Cisco Unified CM SIP 回線インターフェイスについて、外部インターフェイスの視点から説明します。第 2 章では、標準インターフェイスのコール フロー 例を示します。

この章の構成は次のとおりです。

- 「定義/用語集」(P.1-1)
- 「新機能と変更情報」(P.1-2)

定義/用語集

略語/用語	定義
AOR	Address of Record; レコードのアドレス
BLF	Busy Lamp Field; ビジー ランプ フィールド
Cseq	Call Sequence Number; コール シーケンス番号
CPN	Calling Party Normalization; 発信側の正規化
CSS	Calling Search Space; コーリング サーチ スペース
CTI	Computer Telephony Integration; コンピュータ テレフォニー インテグレーション
DND	Do Not Disturb; サイレント
DNS	Domain Name Server; ドメイン ネーム サーバ
DTMF	Dual Tone Multifrequency; デュアル トーン 多重周波数
FECC	Far-End Camera Control; 遠端カメラ制御
FMTF	Format-Specific Parameters; Format-Specific のパラメータ
FQDN	Fully Qualified Domain Name; 完全修飾ドメイン名
KPML	Key Pad Markup Language
MLPP	Multilevel Precedence and Preemption
MTP	Media Termination Point; メディア ターミネーション ポイント
MWI	Message Waiting Indication; メッセージ待機インジケータ
OOB	Out Of Band; アウト オブ バンド

略語 / 用語	定義
OOD	Out of Dialog; アウト オブ ダイアログ
PRACK	Provisional Response ACKnowledgment
RDNIS	Redirected Dialed Number Information Service
RPID	Remote Party ID
RTT	Retransmission Time; 再送信時間
SDP	Session Description Protocol; セッション記述プロトコル
SIP	Session Initiated Protocol; セッション開始プロトコル
SIS	SIP line Interface Specification; SIP 回線インターフェイス仕様
TLS	Transport Layer Security; トランスポート レイヤ セキュリティ
UAC	User Agent Client; ユーザ エージェント クライアント
UAS	User Agent Server; ユーザ エージェント サーバ
URI	Uniform Resource Identifier; ユニフォーム リソース識別子
URN	Uniform Resource Name; ユニフォーム リソース名
VM	Voice Mail; ボイス メール

新機能と変更情報

リリース 8.5(1) では、SIP 回線インターフェイスの拡張機能に対する新機能や変更はありません。



(注)

ここでは、Unified CM 8.5(1) に追加された新規機能およびコールフローについて説明します。Cisco Unified CM 8.5(1) では、SIP 回線（標準）の新機能がリリースされないため、次の URL にある『SIP Line Messaging Guide (Standard) for Release 8.0(1)』から、既存 SIP 基本コールフローの完全なリストを参照することを推奨します。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_programming_reference_guides_list.html